

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時数
6	広がる学びへ アイスプラネット 枕草子 職業ガイドを作る 書写(行書)	12 8 7
	多様な視点から 生物が記録する科学 言葉と向き合う	14 8
8	短歌言葉の力作文 関わりの中で	17
9	盆土産字のない葉書 モアイは語る 書写	7
10	いにしへの心を訪ねる 平家物語 徒然草 漢詩	10
11	論理を捉えて 君は最後の晩餐を知っているか	19
12	書初め(書写) 読書に親しむ	10 1
1	表現を見つめて 走れメロス	19
2	表現のしかたを工夫する 科学はあなたの中にある	
3	1年間の学びを振り返ろう	8

時間数140

2 2 学年国語科の目標

〈 国語・書写 〉

目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読む能力、広い範囲から情報を集め効果的に活用する能力を見につけさせる。読書を生活に役立てようとする態度を育てる。楷書に加え、行書の基本を学ぶ。日常生活に硬筆・毛筆を生かそうとする態度を育てる。

3 観点別評価の割合・方法

国語への 関心・意欲・態度 20%	話す・聞く・能力 20%	書く能力 20%	読む能力 20%	言語についての 知識・理解・技能 20%
・授業中の取り組み	・定期考査	・定期考査	・定期考査	・定期考査
・提出物	・聞き取りテスト	・作文	・ワークシート	・漢字テスト
・意欲的な暗誦	・発表話し合い活動 ・提出物	・ワークシート ・俳句、短歌 ・提出物	・提出物	・書写作品 ・文法小テスト

上記の内容を総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%	A	80%未満～50%	B	50%未満～0%	C
----------	---	-----------	---	----------	---

4 評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、教科としての達成状況を5・4・3・2・1の5段階で評定する。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～ 0%	一層努力を要する	1

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時数
4		
5		
6	2章 世界と比べた日本の地域的特色	14
7	3章 日本の諸地域	
8	1節 九州地方	6
9	2節 中国・四国地方	6
10	3節 近畿地方	6
11	4節 中部地方	6
12	5節 関東地方	6
1	6節 東北地方	6
2	7節 北海道地方	5
3	第4章 身近な地域の調査 歴史的分野を週3時間行う	5

時間数 60

2 2学年社会科の目標

〈 地理的分野 〉

日本及び世界の地理的事象に対する関心を高め、グローバルな視点を持ち、わが国の国土及び世界の諸地域を考察する。地理的な見方や考え方の基礎、グラフ作成や読み取りの技能を身につけることを目指し、わが国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養い、現代社会に生きる1人としての教養を身につける。

3 観点別評価の割合・方法

社会的事象への 関心・意欲・態度 25%	社会的思考・ 判断・表現 25%	資料活用の技能 25%	社会的事象に ついての知識・理解 25%
単元学習シート	単元学習シート	単元学習シート	単元学習シート
ワークシート	ワークシート	ワークシート	ワークシート
ノート	定期考査	定期考査	定期考査
単元テスト	単元テスト	単元テスト	単元テスト

上記の内容を総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%	A	80%未満～50%	B	50%未満～0%	C
----------	---	-----------	---	----------	---

4 評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、社会科の目標と照らし合わせて、教科としての達成状況を5～1の5段階で評定する。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～ 0%	一層努力を要する	1

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時数
4		
5		
6	第2節 東アジア世界とのか かわりと社会の変動	7
7		
8	第4章 近世の日本 第1節 ヨーロッパ人との出 会いと全国統一	7
9		
10	第2節 江戸幕府の成立と鎖 国	5
11		
12	第3節 産業の発達と幕府政 治の動き	9
1		
2		
3	第5章 開国と近代の歩み 第1節 欧米の進出と日本の 開国	9
	第2節 明治維新	8

時間数 45

2 2学年社会科の目標

〈 歴史的分野 〉

歴史的事象に対する関心を高め、わが国の歴史の大きな流れを世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させる。また、その取り組みを通してわが国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、わが国の歴史に対する理解を深め、現代社会に生きる1人としての教養を身につける。

3 観点別評価の割合・方法

社会的事象への 関心・意欲・態度 25%	社会的思考・ 判断・表現 25%	資料活用の技能 25%	社会的事象に ついての知識・理解 25%
単元学習シート	単元学習シート	単元学習シート	単元学習シート
ワークシート	ワークシート	ワークシート	ワークシート
ノート	定期考査	定期考査	定期考査
単元テスト	単元テスト	単元テスト	単元テスト

上記の内容を総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%	A	80%未満～50%	B	50%未満～0%	C
----------	---	-----------	---	----------	---

4 評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、社会科の目標と照らし合わせて、教科としての達成状況を5～1の5段階で評定する。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～ 0%	一層努力を要する	1

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時数
4	1学年 7章 資料の活用 (休校期間中課題)	
5		
6	1章 式の計算	15
7	2章 連立方程式	14
8		
9	3章 一次関数	21
10	4章 図形の調べ方	21
11		
12	5章 図形の性質と証明	19
1		
2		
3	6章 確率	15

時間数 105

2 2学年数学科の目標

- ・既習事項をもとにした導入をすることで、生徒の数学に対する関心をもたせる。
- ・習熟度別授業（2クラス3展開）において、生徒の習熟の程度を把握したうえで、生徒の希望を聞き取りながら、理解の程度や技能等の習熟の程度に応じて学習集団を編成し、基礎基本を定着させる。
- ・生徒同士で話し合い、教えあうことで数学的な見方/考え方を身に付けさせる。

3 観点別評価の割合・方法

数学への 関心・意欲・態度 25%	数学的な 見方・考え方 25%	数学的な 技能 25%	数量・図形など についての知識・理解 25%
・授業への取り組み ・提出物 (休校中の課題、 ノート、ワーク、定 期考査やり直し)	・復習テスト ・定期考査	・復習テスト ・定期考査	・復習テスト ・定期考査

上記の内容を総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%	A	80%未満～50%	B	50%未満～0%	C
----------	---	-----------	---	----------	---

4 評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、教科としての達成状況を5・4・3・2・1の5段階で評定する。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～0%	一層努力を要する	1

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時間	単元・章・節	時数
4				
5				
6	1年生 単元2 物質のすがた 4章 水溶液 単元4 大地の変化 3章 地層	36		
7	単元4 気象の仕組みと天気の変化 1章 気象観測 2章 大気中の水蒸気の変化 3章 前線の通過と 天気の変化 4章 日本の気象			
8				
9	単元1 化学変化と原子・分子 1章 物質の成り立ち 2章 いろいろな化学変化 3章 化学変化と物質の質量 4章 化学変化と熱の出入り	32	単元2 動物の生活と生物の進化 1章 細胞のつくりとはたらき 2章 生命を維持するはたらき 3章 行動のしくみ 4章 動物のなかま 5章 生物の進化	38
10				
11				
12	単元3 電流とその利用 1章 電流と回路 2章 電流と磁界 3章 電流の正体	34		
1				
2				
3				
時間数				140

2 2学年理科の目標

自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深める。また、科学的に探究するために必要な観察、実験に関する基本的な技能を身につけるとともに、科学的な見方や考え方を養う。

3 観点別評価の割合・材料

自然事象への 関心・意欲・態度 25%	科学的な思考・表現 25%	実験・観察の技能 25%	自然事象についての 知識・理解 25%
・授業中の取り組み ・ワークシート ・提出物 ・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・ワークシート ・提出物	・ワークシート ・定期考査 ・実験観察中の取り組み ・提出物	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート

上記の内容を総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%	A	80%未満～50%	B	50%未満～0%	C
----------	---	-----------	---	----------	---

4 評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、教科としての達成状況を5・4・3・2・1の5段階で評定する。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～ 0%	一層努力を要する	1

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時数
4 5		
6	課題「夏の思い出」 楽典「ト音記号」「ハ音記号」 楽曲分析「夏の思い出」 鑑賞「フーガ ト短調」 器楽「和太鼓」	11
7		
8		
9	歌唱「学年・全校合唱曲①」 (創作「リズム作り」)	
10	鑑賞「勸進帳」 歌唱「学年・全校合唱曲②」	4
11	歌唱「クラス曲」	3
12	歌唱「クラス曲/学年・全校合唱曲②」	3
1	歌唱「クラス曲/学年・全校合唱曲①②」	8
2		
3		

時間数 35

2 2学年音楽科の目標

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
- (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。
- (3) 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

観点別評価の割合・材料

音楽への関心・意欲・態度 25%	音楽表現の創意工夫 25%	音楽表現の技能 25%	鑑賞の能力 25%
・授業への取り組み ・提出物 ・実技試験 ・授業準備	・授業観察 ・実技試験 ・提出物 ・筆記試験	・実技試験 ・授業観察	・提出物 ・筆記試験 ・授業観察

上記の内容を総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%	A	80%未満～50%	B	50%未満～0%	C
----------	---	-----------	---	----------	---

評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、教科としての達成状況を5・4・3・2・1の5段階で評定する。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～0%	一層努力を要する	1

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時数
6	オリエンテーション	1
	色の整理 配色の工夫	3
7	手の色面構成	5
8		
9	絵巻物の鑑賞	1
10	鑑賞（府中市美術館）	2
11	立体制作	11
12		
1	自画像の鑑賞	1
2	自画像の制作	10
3		
	仏教美術の鑑賞	1

時間数 35

3 観点別評価の割合・材料

美術への 関心・意欲・態度 25%	発想や構想の能力 25%	創造的な技能 25%	鑑賞の能力 25%
<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業記録カード 授業観察 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 ワークシート スケッチ 作品評価 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 作品評価 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 鑑賞レポート

上記の内容を総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%	A	80%未満～50%	B	50%未満～0%	C
----------	---	-----------	---	----------	---

4 評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、教科としての達成状況を5・4・3・2・1の5段階で評定する。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～0%	一層努力を要する	1

2 2学年美術科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時数
4		0
5	体育理論	0
6	体づくり運動 男子：陸上競技（短距離走） 球技（バレーボール）	3
7	女子：球技（バドミントン） ダンス（創作ダンス）	12
8		12
9	男子：器械運動（跳び箱） 球技（ソフトボール） 女子：陸上（短距離走・ハードル） 器械運動（跳び箱）	18
10		18
11	男子：陸上（長距離走・高跳び） 球技（バスケットボール） 女子：球技（ソフトボール）	20
12	武道	20
1	男子：球技（サッカー） ダンス・武道	13
2	女子：陸上（長距離走・高跳び） 球技（バスケットボール）	10
3		10
時間数		88

3 観点別評価の割合・方法

運動や健康・安全への関心・意欲・態度 25%	運動や健康・安全への思考・判断 25%	運動の技能 25%	運動や健康・安全への知識・理解 25%
<ul style="list-style-type: none"> ・体育着を正しく着用 ・進んで運動を実践 ・安全に準備 ・仲間と協力して運動 ・公正な審判・計測 ・準備運動 ・学習カードの記入 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、持っている能力をさらにのばすための課題を考えられる ・どんな活動をすれば課題を達成できるのか、そのやり方を考えられる ・学習カードの記入 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・その運動を行うために必要な技能の習得 ・体力を高めるための運動のやり方の習得 ・実技テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動や健康・安全についての基礎的な理解 ・運動や健康・安全についての基礎的なことを授業で生かしている ・ルールの理解と審判方法 ・定期考査 ・運動やスポーツの意義や効果などについて理解できるようにする。 ・学習カードの記入

上記の内容を保健分野と総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%	A	80未満%～50%	B	50未満%～0%	C
----------	---	-----------	---	----------	---

4 評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、教科としての達成状況を5・4・3・2・1の5段階で評定する。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～0%	一層の努力を要する	1

2 学年保健体育科の目標

＜ 体育分野 ＞

- ・運動の楽しさや喜びを味わうとともに運動技能を高めることができるようにする。
- ・体力の向上を図り、たくましい心身を育てる。
- ・公正な態度や、進んで規則を守り互いに協力して責任を果たすなどの態度を育てる。また、健康・安全に留意して運動をすることができる態度を育てる。

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時数
4	けがの防止 ↓ 自然災害・応急手当 ↓ 生活習慣病とその予防 ↓	2
5		
6		
7		7
8		
9		
10		8
11		
12		
1		
2		17
3		
時間数		

2 学年保健体育科の目標

< 保健分野 >

けがの防止について理解を深めることができるようにする。

・傷害の防止について理解を深めるとともに、応急手当をすること。

・傷害の防止について、危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。

健康な生活と疾病の予防について理解を深めることができるようにする。

・生活習慣病などは、生活習慣の乱れが主な要因となって起こることを理解する。

・喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となることを理解する。

3 観点別評価の割合・方法（各観点の評価の割合は、体育分野に準ずる）

運動や健康・安全への 関心・意欲・態度	運動や健康・安全への 思考・判断		運動や健康・安全への 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 授業中の取り組み 仲間と協力して学習 自宅学習中の課題 	<ul style="list-style-type: none"> 自分や仲間が健康で安全な生活を送るためにどうすればいいか課題を考えられる どんな活動をすれば課題を達成できるのか、そのやり方を考えられる どんな活動をすれば課題を達成できるのか、やり方を工夫できる 定期考査 自宅学習中の課題 		<ul style="list-style-type: none"> 健康で安全な生活を送るための基礎的なことがわかる 健康・安全な生活を送るためになおして行かなくてはいけないことがわかる 定期考査

上記の内容を体育分野と総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時数
4		
5		
6	<ul style="list-style-type: none"> 生物を育てる技術を知ろう 生物の育成計画を立てよう 植物の状態や環境を考えて育成しよう 生物育成に関する技術について知ろう エネルギー変換に関する技術について知ろう 	13
7		
8	<ul style="list-style-type: none"> 電気を安定的に供給するための仕組みを知ろう 機器に使われている部品を知ろう 電気機器の保守点検の重要性を知ろう 	9
9		
10		
11	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの機器について調べよう エネルギー変換を利用した製作品を作ろう エネルギーの有効利用について考えよう 	13
12		
1		
2		
3		
時間数		35

3 観点別評価の割合・方法

生活や技術への 関心・意欲・態度 25%	生活を工夫し 創造する能力 25%	生活の 技能 25%	生活や技術についての 知識・理解 25%
<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 観察レポート 製作品 提出物（プリント含む） 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 観察レポート 製作品 提出物（プリント含む） 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 観察レポート 製作品 提出物（プリント含む） 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物（プリント含む） 製作品 定期考査

上記の内容を総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%	A	80%未満～50%	B	50%未満～0%	C
----------	---	-----------	---	----------	---

4 評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、教科としての達成状況を5・4・3・2・1の5段階で評定する。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～ 0%	一層努力を要する	1

※技術科と家庭科の得点を合計したもので、評価・評定を行う。

2 2学年 技術科の目標

〈 技術分野 〉

ものづくりなどの実践的、体験的な学習活動を通して、生物育成、エネルギー変換に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時数
6	衣生活・住生活と自立 衣生活の自立 環境に配慮した衣生活 布を用いた物の製作	15
7		
8		
9		
10	家族・家庭と子供の成長 家庭のはたらき 家庭の仕事を支える社会 住まいの働き	8
11		
12		
1	身近な消費生活と環境 商品の選択と購入 家族生活と家庭経済 住まい選び 環境に配慮した住まい	8
2		
3	食生活の自立 食品の選択と保存	4

時間数 35

2 2学年家庭科の目標

〈 衣生活と自立 〉

衣服と社会生活とのかかわりを理解し、目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫できる。日常着の手入れができる。日常着の制作を通して生活を豊かにするための工夫ができる。

家族と家庭生活について理解を深め、支え合い協力して生活することの意義を考える。住まいの役割を理解するとともに安全・快適な室内環境を整えられるようにする。

商品の選択と購入方法について考え、家族生活に関わる収支を知る。環境に配慮した経済活動について考える。

3 観点別評価の割合・材料

生活や技術への 関心・意欲・態度 25%	生活を工夫し 創造する能力 25%	生活の 技能 25%	生活や技術についての 知識・理解 25%
<ul style="list-style-type: none"> 授業の取り組み 授業準備 学習プリント 提出物 製作品 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の取り組み 学習プリント 提出物 製作品 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の取り組み 学習プリント 製作品 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 学習プリント

上記の内容を総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%	A	80%未満～50%	B	50%未満～0%	C
----------	---	-----------	---	----------	---

4 評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、教科としての達成状況を5・4・3・2・1の5段階で評定する。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～ 0%	一層努力を要する	1

1 年間の授業のめやす

月	単元・章・節	時数
4 5		
6	Unit 1 Tina's Speech Unit 2 Nick Helps a Dog Unit 3 Plans for the Summer	48
7	Unit 4 Taku Gets Lost Skit Time 道案内	
8	Let's Read 1 The Letter	
9	Unit 5 Aya's Time in Okinawa Skit Time 依頼	60
10	Unit 6 A Therapy Dog Skit Time レストラン	
11	Unit 7 You Are the Problem	
12	Skit Time 買い物 Unit 8 Christmas Concert	
1	Let's Read 2 Living with Robots	32
2	Unit 9 Goodbye, Min-ho	
3	Skit Time 体調 Let's Read 3 Bamboo Can Do!	

時間数 140

2 2学年 英語科の目標

- ・初歩的な英語の文章を聞いたり読んだりして、その意向などを理解できるようにする。
 - ・初歩的な英語の文章を用いて、自分の身の周りのことを話したり書いたりすることができるようにする。
 - ・また、コミュニケーションをとろうとする積極的な態度を育てる。
- ※2クラス3展開、1クラス2展開の少人数制を実施。学び合い、助け合いながら、どのような生徒もより活発にコミュニケーション活動に取り組めるよう、より個に応じた学習指導を行う。

3 観点別評価の割合・材料

コミュニケーションに対する 関心・意欲・態度 25%	外国語表現の能力 25%	外国語理解の能力 25%	言語文化に対する 知識・理解 25%
・授業への取り組み ・提出物 ・発表 ・スピーキングテスト	・定期考査 ・小テスト ・英作文 ・発表 ・スピーキングテスト	・定期考査 ・リスニングテスト	・定期考査 ・小テスト

上記の内容を総合的に判断して、それぞれの達成の状況からA～Cの3段階に評価する

100%～80%	A	80%未満～50%	B	50%未満～0%	C
----------	---	-----------	---	----------	---

4 評定について

観点別評価のそれぞれの項目を総合して、教科としての達成状況を5・4・3・2・1の5段階で評定する。

100%～90%	十分満足できるもののうち、特に高い	5
90%未満～80%	十分満足できる	4
80%未満～50%	おおむね満足できる	3
50%未満～20%	努力を要する	2
20%未満～ 0%	一層努力を要する	1